

## 中間報告書

令和4年9月15日現在

### 1 事業名

次世代へ農業の魅力を伝えるプログラム

### 2 実施期間

令和4年4月13日～令和4年12月31日

### 3 事業内容

#### ① 事業の目的・概要

COVID-19の影響が長期にわたり、子ども達の生活は一変した。学校行事や地域のイベントが中止や制限される中ではあるが、楽しい農業体験を通し、農業を身近に感じ、地域の魅力を発見・理解する機会にしたい。農業とそこに携わる地域の方々との触れあい、さらには総社から世界につながる魅力ある分野であることに興味を持ち、将来の職業選択のひとつになることを目指す。

#### ② 事業の流れ・進捗状況等

<実施したこと>

○事業項目1 小学生5・6年生対象の桃の農業体験（全3回）

備中県民局管内の対象児童へチラシ配布、備中県民局健康福祉部と当団体のSNSにて募集 受付期間5月17日（火）～5月19日（木）

○事業項目2 学生ボランティアの受け入れ

県内の高校3校と大学7校へチラシ配布や備中県民局健康福祉部と当団体のSNSにて募集 受付期間5月2日（月）～5月20日（金）

高校：総社高校・総社南高校・高松農業高校

大学：新見公立大学・岡山県立大学・吉備国際大学・倉敷市立短期大学・くらしき作陽大学・岡山短期大学・ノートルダム清心女子大学

（※下線は、初めて当団体の事業を案内した学校）

実施のための協議・広報・調整・準備・運営

6月4日（土） 桃の袋かけ

7月2日（土） 桃の収穫

8月7日（日） 桃の選果場等の見学

- ・小学生は、総社市外からの問い合わせがあったものの申し込みには至らず、すべて総社市内（15校中7校）からの参加となった。学生ボランティアは申し込み多数のため、事前に調整を行い、全3回のうち1回のみでの参加とした。
- ・当日は、小学生と学生ボランティアがペアになり、移動の際の安全確保や活動中のサポートをするなど、異世代交流の機会となった。
- ・各回、講師作成の資料を基に総社市山手地区の桃の生産や流通について説明した。また、講師自身の経験から、桃農家になるまでの経緯や思い、なぜ総社を選んだのかなどについても子ども達に伝えた。

- ・袋かけと収穫の体験では、きびじ農業後継者クラブ員と一緒に活動し、子ども達からの質問に答えるなど丁寧な指導とサポートがあった。
- ・当日の活動の様子を保護者にも知ってもらうために、当団体の Instagram で発信した。また、収穫への期待を家族と共有してもらえるよう、袋かけから収穫までの生育状況を講師に写真撮影をしてもらい、Instagram で1週間毎に発信した。

### 6月29日(水) 総社市学習等支援教室小学生版「ワンステップ」対象の桃の収穫体験（「ワンステップ」事業費より支出）

- ・1年～6年生 11名が参加。
- ・講師の話聞いてから、完熟の加納岩白桃を収穫。
- ・樹になっている桃を見るのが初めての子どもの多く、100個ほどの中から美味しそうな桃・お気に入りの桃をじっくり探す姿、教わったとおりにそっと優しく収穫する姿が見られた。
- ・収穫した桃は、「家族で分けて食べる」、「そのまま食べる」、「ジュースにする」などの声が聞かれた。中には桃アレルギーの子どもがおり、「自分は食べられないけれど、お母さんと弟は好きだから喜んでくれるかな」と収穫した桃を大事そうに持ち帰る姿が見られた。
- ・当初は農業体験2回目の後、7月6日に計画していたが、桃の生育が予想以上に早く、1週間早めて実施した。保護者への連絡と送迎スタッフや支援スタッフ、外部スタッフなど、ワンステップ側に大幅な予定変更や調整をもらった。

○事業項目3 地元の若手農業経営者が現在の農業について学生と語る座談会に向けての協議・広報・募集・準備  
事業項目2のボランティアに参加した学生の中には、アンケートで「農業に興味関心がある」と回答した学生も多くいたため、引き続き参加してもえるよう個別に案内をした。また、事業項目2の学校に加え、備南広域農業普及指導センターの協力により、岡山大学へチラシの送付、興陽高校・井原高校・高梁城南高校・新見高校・真備陵南高校・農業大学校に直接出向いての案内をしていただいた。

(※下線は、初めて当団体の事業を案内した学校)

受付期間 8月29日(月)～

<今後、実施すること>

○事業項目3 地元の若手農業経営者が現在の農業について学生と語る座談会  
10月30日(日) 高校生・大学生対象のトークイベント

③ これまでの成果・効果、今年度事業終了後の成果・効果の見込み

成果目標1 県内へのPRによって、参加者を集める。

評価指標・測定方法	数値目標		
	現状	今年度	実績
農業体験、学生ボランティア、座談会への参加人数の達成度（定員に対する割合）	0	農業体験100%、学生ボランティア80%、座談会80%	農業体験100%、学生ボランティア100%、座談会（実施前）

小学生は、備中県民局県内全域に募集するも、総社市内からの参加のみだった。

学生ボランティアは、備中県民局管内を中心に県内に向けて募集し、総社市、岡山市、倉敷市、高梁市、新見市、福山市、坂出市、兵庫県揖保郡から県内在学の学生が参加した。留学生の参加もあり、世代や国籍を超えた交流ができたことは大きな収穫だった。

成果目標2 収穫の喜びや流通のしくみを知ることによって農業の魅力を感じられる。

評価指標・測定方法	数値目標		
	現状	今年度	実績
小学生と保護者対象の理解度アンケート（5段階評価で4以上の割合）	0	80%	小学生95%（未回収1名） 保護者65%（未回収2名）

体験前には、小学生も学生ボランティアも「地元岡山の良いところはどこか」と聞かれても答えられなかった。農業体験や講師の「なぜ岡山に移り住んで桃農家になったのか」という話を聞くことによって、地元や農業の良さに気づき、それぞれが思う地元岡山の魅力を答えることができるようになった。

保護者に対しては、資料やInstagramで当日の様子や桃の生育過程を子どもと一緒に見てもらえるように工夫をした。小学生の体験前後で、保護者自身の農業に対するイメージがすごく良くなった・良くなったと答えたのは20人中13人だった。

成果目標3

評価指標・測定方法	数値目標		
	現状	今年度	実績
学生対象の満足度アンケート（5段階評価で4以上の割合）	0	80%	（実施前）

- ・岡山県や総社市の特産物である桃の生産について、資料を用いての話と体験によって、学ぶことができた。小学生からだけでなく、学生ボランティアからも活発な質問があり、共に学びを深めることができた。
- ・本事業を実施するにあたり、高松農業高校やノートルダム清心女子大学などの新しい学校とのつながりができた。実際に訪問し、担当の先生や学生と直接お話しすることで、事業に対する理解をいただき、参加につなげることができた。
- ・きびじ農業後継者クラブの協力と、備中県民局の子育て支援と農業という異なる2つの分野の担当課との協働により、応募時点の計画からより良く発展させることができた。初の試みである座談会（トークイベント）の案内も、ボランティア募集でつながりができた各校の先生を通してお願いすることができた。また、備中県民局管内の大学や高校へのチラシ配布やPRは、福祉振興課と備南広域農業普及指導センターの協力が得られた。

#### ④ 課題等

- ・農業体験の日程を考える際、桃の生育速度や天候など、農業経営者の方でも読み切れない難しさがある。雨天による順延等はなかったが、猛暑の中の活動となり、暑さ対策等の配慮が不可欠であった。
- ・備中県民局担当課のお力を借りて、総社市外の小学生にもPRしたが、問い合わせが数件あったものの、市外からの申し込みには至らなかった。
- ・学生ボランティアは市外からの申し込みが多く、集合場所（総社市山手地区）までの交通手段や土地勘のない学生へのフォローが必要になった。
- ・今まで当団体では、学生ボランティア養成には事前のオリエンテーション、活動、事後の振り返りを行ってきたが、広域からの受け入れ、スケジュールや会場調整の難しさにより、当日の活動のみとなった。事前に持ち物や注意事項を伝えていたが、服装や持ち物、欠席連絡等で指導が必要な場面もあった。

令和4年度 岡山県備中県民局提案型協働事業 次世代へ農業の魅力を伝えるプログラム

# 桃の農業体験参加者募集!



- 《日時》 6月4日(土) 10時～12時(桃の袋かけ)  
悪天候の場合、6月5日(日)に順延
- 7月2日(土) 10時～12時(桃の収穫)  
悪天候の場合、7月3日(日)に順延(収穫した桃を持ち帰ります)
- 8月7日(日) 10時～12時(選果場他の見学)

- 《参加対象》 岡山県在住の小学5・6年生(子どものみの参加となります)
- 《参加人数》 20人 ※3回とも参加できる人
- 《体験場所》 総社市山手地区の桃畑(活動場所は主に総社市山手地区になります)
- 《参加費》 2,000円(3回分の保険料を含みます)
- 《申込受付》 5月17日(火)～5月19日(木)  
定員を超えた場合、抽選となります。

- 《申込方法》 メールで申し込む ※件名に農業体験と必ず明記してください。  
本文に(学校名)(学年)(クラス)(氏名)(電話番号)(住所)を明記の上、  
下記のアドレスに送信してください。  
※当選者には、詳細を後日郵送でお知らせします。

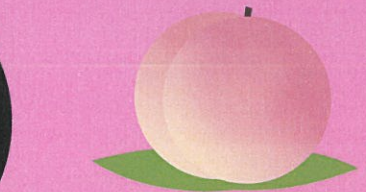
- 《指導と協力》 きびじ農業後継者クラブ・岡山県備中県民局・備南広域農業普及指導センター

問い合わせ NPO法人 保育サポート「あい・あい」  
電話 0866-94-3280  
申し込み先 メール aiai2002@mx6.kct.ne.jp

主催 NPO法人 保育サポート「あい・あい」  
協力 きびじ農業後継者クラブ  
後援 総社市 総社市教育委員会

# ボランティア

# 募集



ボランティア保険加入の  
必要あり

小学5・6年生の参加児童と一緒に活動するボランティアです  
ボランティア証明書を発行します



日程	行事予定	時間
① 6/4 (土) 予備日 6/5 (日)	農業体験 (桃の袋かけ)	9:30 ~ 12:30
② 7/2 (土) 予備日 7/3 (日)	農業体験 (桃の収穫)	9:30 ~ 12:30
③ 8/7 (日)	選果場他の見学	9:30 ~ 12:30

各活動日、10人程度募集  
主な活動場所 総社市山手地区

問い合わせ  
申し込み

NPO法人 保育サポート「あい・あい」  
電話 0866-94-3280 FAX 0866-94-5665

申し込み締切り 5/20 (金)

後援：総社市・総社市教育委員会

----- 切り取り線 -----

学校

学科

学年

ふりがな  
氏名

携帯電話

住所

参加可能日に○を付けてください (6/4・7/2・8/7) ボランティア保険 (加入済・未加入)  
ボランティア活動担当の先生に提出か、直接「あい・あい」までお申し込みください。

# 総社でがんばる若手農業経営者の トークイベント



若手農業経営者の話を聞いてみたいという方、是非ご参加ください。  
(現在農業を学んでいる人、農学部を希望している人、地元の農業に興味のある人 等)

## 第一部：農業経営の話

(仕事を始めたきっかけ、やりがい、経営理念など)

参加費  
無料

## 第二部：農業経営等に関する意見交換会・座談会

講師 きびじ農業後継者クラブ所属の農業経営者

総社のナスを引っ張る  
茅原氏  
新規就農者も受け入れる  
ベテラン経営者

高品質の桃づくり  
佐伯氏  
地域農業の活性化にも  
取り組む若手経営者

ぶどうの New farmer  
松本氏  
オフシーズン無しの  
農業経営者

日時 **10月30日(日)**  
10:00 ~ 12:30 (開場 9:30 ~)

対象 **岡山県在住・在学中の高校生・大学生**  
30名程度

会場 **「そうじゃ子育ての駅」**

総社市駅前2丁目12-133(谷井ビル隣) 総社駅東口から南に徒歩3分



申込方法 8月29日(月)から受付開始

- ①メールで申し込む ※件名にトークイベントと必ず明記してください。  
本文に(学校名)(学科)(学年)(氏名ふりがな)(携帯電話番号)(住所)を明記の上、  
下記のアドレスに送信してください。
- ②電話で申し込む

問い合わせ  
申込先

NPO 法人保育サポート「あい・あい」

電話 0866-94-3280 メールアドレス aiai2002@mx6.kct.ne.jp

協力 きびじ農業後継者クラブ 岡山県備中県民局農林水産事業部備南広域農業普及指導センター